

MB022031

障害者福祉論

Social Welfare for Persons with Disability

昼間（1年）クラス

担当教員 石倉 健二

単位数 2

単位区分 選択, 選必

開講学期 前期

開講曜日時限 木曜日5時限

授業方法 講

標準履修年次 1年

備考

【授業の目標及び期待される学習効果(授業のテーマ及び目標)】

以下の3点を授業の目標とする。

- ①児童生徒やその家族に何らかの障害や生活上の困難さがある場合に、どのような社会保障制度を利用することができるのかについて、調べることができる。
- ②児童生徒やその家族に、何らかの福祉サービスが必要そうであることに気づいたときに、連絡をとるべき機関や窓口を調べることができる。
- ③関係機関との支援会議を招集できるようになる。

【授業の内容・計画】

本授業は、ある架空の家族をもとにして関係する社会保障制度や機関を学んでいく。

授業の方法は、講義とグループワークとする。

指定するテキストを必ず購入して授業に参加すること。

- 《第1週》 講義：授業オリエンテーション、社会保障の基本的な考え方、ケースの紹介
- 《第2週》 講義：支援計画の作成方法について
- 《第3週》 グループワーク1：チーム編成とケース会議（ケースの生活上の困難点について整理）
- 《第4週》 講義：障害児・者サービスについて
- 《第5週》 講義：生活費と仕事及び医療サービスと医療費について
- 《第6週》 講義：高齢者サービスについて
- 《第7週》 講義：子どもとひとり親の支援について
- 《第8週》 講義：権利擁護、個人情報保護、障害者差別禁止、虐待防止等について
- 《第9週》 グループワーク2：チーム内での各自の役割の決定
- 《第10週》 支援計画の作成：役割に従って対象者についての支援計画を作成する
- 《第11週》 グループワーク3：チーム内での支援計画の検討①
- 《第12週》 グループワーク4：チーム内での支援計画の検討②
- 《第13週》 グループワーク5：チーム間でメンバー交流をして支援計画を検討
- 《第14週》 グループワーク6：チーム内での支援計画の検討③
- 《第15週》 グループワーク7：受講者全体での討議

【成績評価の方法・基準等】

授業への参加状況（評価割合15%）

レポート（評価割合85%）

【テキスト・教材・参考書等】

[テキスト]日本医療ソーシャルワーク研究会編集『医療福祉総合ガイドブック2016』（医学書院）

【事前事後学修】

【その他】

指定のテキストを必ず購入してください。

場合によっては、出版が授業開始に間に合わない可能性もありますが、出版され次第購入してください。